

災害発生後の災害ゴミ処理について

町 公有地などに一次仮置場を設置

町長 大規模災害により大量の災害ゴミが発生した場合の対応は。

町長 できるよう公有地などに一次仮置場を設置する。



岡村 繁範 議員

町長 令和元年度に「坂町災害廃棄物処理計画」を策定し、災害廃棄物の処理は、規模や確保できる敷地面積により異なるが、発生ゴミなどを自己搬入

議員 より住民に寄り添った集積拠点の活用拡大の検討を。

町長 過去には、各地域の公園を中心にゴミの仮置き場として活用しており、これまでの経験を踏まえ、可能な限り対応する。



災害発生後のゴミ置き場（公園）

横浜一部15・17号線を延伸し、防災道路を

町 課題が多く既存道路を活用して早期避難を



奥村 富士雄 議員

町長 南海トラフ地震津波などにより、横浜海岸は通行不可能になる恐れがある。現在工事中、整備予定の横浜一部15・17号線を延伸し、防災道路として整備しては。

町長 延伸は墓地移転、地形が急峻など、解決しなければならぬ課題が多い。災害時は、既存の道路を利用して早めの避難をしてほしい。

議員 横浜地区の活性化のため、次期坂町長期総合計画で、森山中腹に防災道路計画を載せることができれば、調査・研究を進めては。

町長 検討していく。



安全安心のため森山中腹に防災道路を

災害時協力井戸の登録制度を実施しては

町 地域と一体となって進めていくことが重要

町長 生活用水として、登録制度を実施しては。

町長 地震などの災害により、上水道が復旧するまでの間、飲料水については、国や県に協力要請を行うとともに、備蓄水や協定を締結している事業所や自治体の協力を得て

町長 対応する。登録制度を導入するには、所有者の同意や水質検査、また、安全に取水できる場所にあることの確認が必要で、地域との協議を最優先とし、検討していく。

議員 実施する場合に、町の必要な費用は。

町長 生活用水として使用する井戸の水質検査1件あたり11項目の検査で、約8千円を見込んでいます。



少なくなった井戸

坂町総合戦略の成果を問う

町 人口減少問題を克服するため、各種施策を展開

町長 坂町総合戦略のこれまでの成果は。

町長 人口減少問題を克服するため、子育て世代の引越助成、空き家対策など各種施策を展開し、一定の成果を挙げた。

議員 複合的な福祉課題への対応は。

町長 保健・福祉総合相談室が調整役となり、庁内外の関係機関と連携協働し、引き続き個別の支援を行う。

議員 町長が考える「理想の坂町」とは。

町長 子どもの教育に力を入れ、地域に誇りを持つ人材を育成することが、町の成長につながると考えている。

町長 その他、「感震ブレーカーの普及促進を」についても質問した。



活気あふれる坂町へ